永年の功績を称えて
もみじ賞の表彰式開催

11月3日、市政推進や振興に尽力された6人の功績を称え、もみじ賞の表彰式が行われました。

もみじ賞は、永年にわたり、市の発展と市民のために献身的な活動をされた人に贈られます。今回は、辻重五郎さん、石塚和三さん、上山貞さん、大地但さん、足立美法さん、髙見和也さんに贈られました。

表彰式に出席された受賞者の皆さん

武庫川女子大学と連携
大学と学生の力を生かす

糸魚川（いとがわ）学長（写真前列左）と丹波市出身の学生たち（同後列）と谷口市長

武庫川女子大学・同短期大学部と市の包括連携協定の締結式が行われました。両者は、地域づくりや教育・文化・スポーツの振興・健康増進、人材育成について連携して取り組みます。

市長は「多くの大学と連携してきた経験から、学生が活躍できるフィールドをたくさん用意できる。ぜひ学生の力を市のために生かして欲しい」と期待を寄せました。

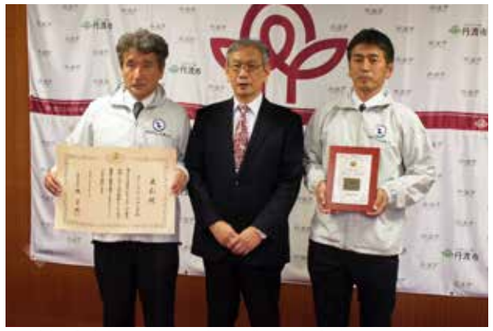
技術の結晶
ダンボリュウ出現！

神崎紙器工業株式会社から、ダンボールで作成した巨大恐竜モニュメントが寄贈されました。全長6メートル、高さ3メートルで、その名も「ダンボリュウ」。ライフピアいちじまのロビーに設置された姿は、丹波竜を彷彿とさせます。

鬼頭副市長は「ダンボールだけでできているとは信じられない精巧さ。この迫力と技術を多くの人に感じてもらいたい」と話しました。

子どもたちと記念撮影するダンボリュウとちーたん

スポーツの普及に貢献
文部科学大臣表彰！


表彰を受けたスポーツクラブ21氷上東の川口会長（写真左）と藤原亨さん（同右）

スポーツクラブ21氷上東が、文部科学大臣から生涯スポーツ優良団体表彰を受けたことを報告しました。

川口会長は「市内で一番のクラブを目標に、スポーツだけでなく、文化活動にも力を入れている」と説明。鬼頭副市長は「年代を越えて取り組む活動はとても重要。今後の活躍も期待している」と話しました。

丹波大納言小豆を味わう
ぜんざいフェア開催中

11月3日から、2月4日まで市内38店舗で、丹波大納言小豆を使ったぜんざいが食べられる「丹波大納言小豆ぜんざいフェア」が展開されています。

ぜんざいを味わった子どもたちは「甘くておいしい！今度は違うぜんざいも食べたいな」とはしゃいでいました。取材協力：中島大祥堂

ぜんざいを食べる子どもたち

宮垣仁さん
ボクシングで国体準優勝！

ファイティングポーズを決める宮垣仁さん（写真左）と鬼頭副市長

第72回国民体育大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」のボクシング少年男子ライト級で準優勝に輝いた、氷上地域出身の宮垣仁さんが市役所を訪れ、鬼頭副市長に大会結果を報告しました。

宮垣さんは「はじめての国体で緊張した。今回の経験を生かして、世界をめざしたい」と力強く今後の活躍を誓いました。

高齢者が安心して暮らせるまちへ
新たな事業者と協定

新たに協定を結んだ3事業者の皆さんと谷口市長

市は、市内で活動する民間事業所と「高齢者等見守りネットワーク協定」を締結しました。この取り組みは、民間事業所が事業活動の中で、高齢者などの見守りや異変が起こった際の早期発見・対応することをめざすものです。

新たに住友生命保険相互会社、ワタミ株式会社、株式会社デンテックスが加わり、協定事業者は30団体になりました。

海外からの来訪
台湾からの視察団受け入れ

11月1日、14人の台湾台東県政府の視察団が訪れました。視察団は地域活性化のため、日本の地方創生の取り組みを学ぼうと来日。市は、農業を取り巻く状況や課題、施策などを説明しました。

視察団は「農の学校の規模や経営母体は」「若者の農業従事者の状況は」などの質問を投げかけながら、市の取り組みへの理解を深めました。

農業施策について質問をする視察団の職員（写真中央）